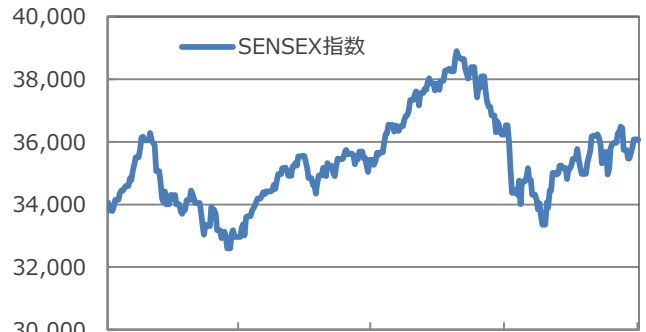


今日のトピック 2019年のインド株式市場の見通し 高い経済成長を背景に堅調な展開を予想

ポイント1 相対的に堅調なインド株 アジア主要市場で唯一上昇

- 2018年のインド株式市場は、世界株安を受けて春先にかけて調整しましたが、その後は、力強い景気を背景に上昇基調が続き、8月下旬に過去最高値をつけました。しかし、通貨ルピー安や信用不安の高まりから、10月下旬にかけて下落し、11月以降はルピー反発に伴い持ち直しました。2018年は、米中貿易摩擦の激化でアジアの株式市場が軒並み大きく下落するなかで、インドの代表的な株価指数のSENSEX指数は5%を超える上昇となりました。

(ポイント)【2018年のインド株式市場の推移】

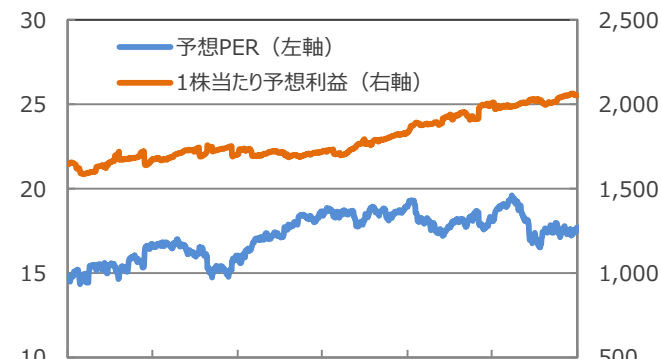


(注) データは2017年12月31日～2018年12月31日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 インド経済は高成長続く 企業業績の伸びが株価けん引

- インド株式市場を取り巻く環境は引き続き良好とみられます。2019/20年度の実質GDP成長率は、+7.3%を予想しています。また、原油安が進んだ影響で、インフレや経常収支が改善し、通貨の安定にも寄与すると考えられます。金融政策は引き締め姿勢から緩和的な方向に変わる可能性があります。
- 高い経済成長を背景に企業業績は拡大が続き、株価をけん引しそうです。一方、予想PER(株価収益率)でみた株価評価では、割高感はありません。
- 内需主導型の経済であるインドの株式は、相対的に米中貿易摩擦の影響を受けにくいと考えられます。

(倍)【SENSEX指数のPERとEPS】 (ポイント)



(注1) データは2016年1月16日～2019年1月15日。
(注2) 予想株価収益率 = 株価 ÷ 1株当たり予想利益 (EPS)。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 2019年は堅調な相場展開を予想

- 2019年のインド株式市場については堅調な展開を予想しています。国内経済の高成長が続くなかで企業業績の拡大が見込まれること、インフレが落ち着いていることで金融政策が緩和方向に向かう可能性があること、株価が割高水準にないこと、米利上げ打ち止めに伴い資金流入が期待されることなどが背景です。
- ただし、リスク要因として、2019年春の総選挙が注目されます。これまで経済改革を推進してきたモディ首相の再選が危ぶまれており、選挙情勢により不安定な相場展開となる恐れがあります。

ここも
チェック! 2019年1月7日 アジア・トーク「今後のインド経済について」
2018年12月18日 インドの経済・市場動向(2018年12月後半)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。